



日本のまんなか
水と緑といで湯の街渋川市

令和6年11月第3回市長定例記者会見

- ・日時 令和6年11月18日(月)
午後1時
- ・場所 市役所本庁舎記者会見室

- 1 令和6年度の渋川中学校コミュニティ・スクール事業として
防災をテーマにしたPTA講演会などを実施します(資料1)
- 2 渋川のまちなかをイルミネーションで彩ります(資料2)
- 3 令和6年度渋川市「家族の日」大会作文の入賞者が決まりました(資料3)
- 4 インフルエンサーによる渋川市の魅力発信が始まりました(資料4)
- 5 ふるさと納税ポータルサイト「JRE MALLふるさと納税」での
渋川市への寄附申込の受け付けを開始します(資料5)
- 6 「渋川市こども計画」の策定に係る市民意見公募を実施します(資料6)

○次回開催予定

日時：令和6年11月25日(月) 午後1時～

場所：渋川市役所本庁舎2階 記者会見室

市長の主な週間日程

月 日	時間	件 名	場 所	所 管
11月18日(月)	9:00	庁議	市役所本庁舎	政策戦略課
	13:00	市長定例記者会見	市役所本庁舎	広報室
11月19日(火)	9:20	渋川地区林業振興協会視察研修会出発式	市役所本庁舎駐車場	環境森林課
11月20日(水)	9:30	群馬県国民健康保険団体連合会出向監査	市役所本庁舎	保険年金課
	14:00	交響詩曲ぐんま演奏会	市民会館大ホール	秘書室
	15:30	群馬県市長会による群馬県知事要望	群馬県庁	秘書室
	18:00	市内主要企業と渋川市の勉強会	プレヴェール渋川	秘書室
11月21日(木)	10:00	日本透析医会群馬県支部から要望書の提出	市役所本庁舎	総務経営課
	13:30	災害時相互援助協定締結自治体連絡調整会議(Web会議)	市役所本庁舎	危機管理室
	15:00	渋川商工会議所から要望書の提出	市役所本庁舎	産業政策課
	17:00	子持産業振興(株)取締役会及び第24期定時株主総会	子持行政センター	農政課
11月22日(金)	15:30	上信自動車道建設促進期成同盟会による群馬県要望	群馬県庁	土木管理課
11月23日(土)	8:30	第72回日本のまんなか渋川駅伝大会	市役所本庁舎駐車場	産業政策課
	10:30	渋川市功労者表彰式	市民会館小ホール	秘書室
	13:30	令和6年度渋川市「家族の日」大会	北橋公民館ホール	生涯学習課
11月24日(日)	8:00	第6回渋川ライオンズクラブ少年野球教室	北橋運動場	スポーツ課
11月25日(月)	9:00	庁議	市役所本庁舎	政策戦略課
	13:00	市長定例記者会見	市役所本庁舎	広報室

資料1

令和6年度の渋川中学校コミュニティ・スクール事業として 防災をテーマとしたPTA講演会などを実施します

渋川中学校は、令和6年度のコミュニティ・スクール（学校運営協議会）事業として、防災をテーマとしたPTA講演会と、高校入試等に向けた面接練習を実施します。

1 概要

渋川市立渋川中学校は、令和4年度にコミュニティ・スクール（学校運営協議会）を導入しました。導入から3年目となる令和6年度のコミュニティ・スクール事業として、自然災害への対応を専門家から直接指導を受ける参加体験型学習と、元小中学校の校長先生に面接官や講師をお願いする面接練習を実施します。

2 PTA講演会～防災教育～

(1) 目的

防災に関わる専門家の講話をとおして、災害や防災についての基本的な事項を知り、災害に対する備えや災害発生時の対処の仕方等について学びます。さらに、参加体験型の学習により、災害や防災を自分ごととして把握し、進んで安全で安心な社会づくりに参加し貢献できる態度を養うことを目的とします。

(2) 日時 令和6年11月27日(水) 午後1時50分～3時30分

(3) 会場 渋川市立渋川中学校 体育館（渋川市渋川2555-2）

(4) 対象 渋川中学校全校生徒及びPTA会員（約400人を想定）

(5) 内容

ア 開会

イ 挨拶 PTA会長、学校運営協議会会長

ウ 来賓挨拶・来賓紹介

エ 第1部＝PTA講演会

①テーマ 自然災害への「立ち居振る舞い（態度）」

～自分や大切な人の命を自然災害から守るために～

②講師 渋川市気象防災アドバイザー 尾台 正信（おだいまさのぶ）氏

③講話内容

- ・災害大国の日本であることを意識する話
- ・現在の科学技術の限界、不確実性の話
- ・災害が発生する可能性のある現象が予想された場合に順次発表される防災気象情報の話

オ 第2部＝参加体験型学習（グループワーク・50分）

①対象災害を台風とし、前日からの時間経過を示し、各生徒が取るべき防災対応を考えるきっかけをつくるような方法で実施

②各グループの代表者が、時間経過で取るべき対応について発表

③講師からの全体総括

カ 謝辞・学習のまとめ

キ 生徒代表から花束贈呈

ク 閉会

3 元小中学校長先生を面接官・講師に迎えた3学年面接練習

(1) 概要

渋川中学校は、一昨年度まで、高校受験等を迎える3学年生徒(約100人)に対する学校職員による面接練習を実施してきました。日頃から生徒に関わる教員による面接については、利点もありましたが、慣れ親しんでいるところも見受けられるなどの課題がありました。そこで、より生徒にとって効果的な面接練習を行うために、退職した校長先生たちに面接官や講師として協力していただき、面接練習を実施するものです。

(2) 日時

①第1回＝令和6年12月13日(金) 1月試験対応(私立高校等)約20人

②第2回＝令和7年1月24日(金) 2月試験対応(公立高校等)約70人

※いずれも5・6校時(午後1時45分～3時30分頃)

(3) 会場 渋川市立渋川中学校 校長室・会議室・学習室・特別教室等

(4) 内容

- ・3年生全員を一班4～5人のグループに分け、1回20分程度のグループ面接の形態で面接練習を実施します
- ・面接練習後、面接内容に関わる3学年職員と情報交換を行います

4 記者会見出席者

渋川中学校PTA会長 後藤 幹基(ごとう みきもと)氏

渋川中学校PTA研修グループリーダー 荒木 拓磨(あらき たくま)氏

参考

過年度の渋川中学校コミュニティ・スクール事業(活動報告書抜粋)

1 令和4年度

(1) 薬物乱用防止教室

2年生を対象とした薬物乱用防止講習会を実施。第1部では、藤岡市にある日本ダルク(薬物依存症リハビリ施設)の代表者による講話と回復プログラムとして取り組んでいるエイサー(琉球太鼓)の見学。更生保護女性会の活動の様子を会長から説明していただいた。



(2) PTA奉仕作業

PTA主催の奉仕作業として、校庭や花壇の除草に加え、学校周辺の環境美化活動を行った。事前のPTA運営グループ会議の中で提案された、推進活動の「のぼり旗」を作成し、コミュニティ・スクールとしての活動を行った。

(3) PTA講演会～運動部活動の地域移行や共生社会をテーマにした講演会～

第一部は、群馬県教育委員会健康体育課の小山靖弘先生による『部活動の地域移行』をテーマにした講演会を実施。第二部は、平野勇パウロ氏を講師に迎え、『共生社会』をテーマにした講演をしていただいた。

2 令和5年度

(1) 保護司・更生保護女性会との連携による「交流会」
社会を明るくする運動のビデオ「二つの道」を視聴した後、前橋保護観察所監察官から講話をしていただいた。

(2) P T Aが主体の「奉仕作業」・「リユースバザー」・「講演会・伝統行事披露」

① P T A親子奉仕作業について

P T A奉仕作業として、校庭や花壇の除草、学校周辺の環境美化活動を行った。

② リユースバザー

体育館で、渋川南小・豊秋小の6年生を対象に体育着や学用品等のリユースバザーを実施。

③ P T A講演会

前半は、山車祭りの三演目を生徒・保護者が披露。後半は、「今から知っておきたいお金と生活の知識」と題した講演会を実施。

(3) 3学年面接練習・人権講演会

元校長先生方の協力による、3学年生徒への面接練習を実施。人権尊重月間には、人権擁護委員に人権講話をしていただいた。

(4) 公民館事業・地域行事への参加と協力

本石原会館での花植作業に中学生ボランティアが参加したほか、渋川公民館で美術部の作品が展示された。豊秋公民館で開催された「とよあき夏まつり」において、16人の中学生がボランティアで参加した。



<リユースバザー>



<とよあき夏まつりへの参加>>

■ 問い合わせ先

教育部 部長 斉藤 章吉 (内線4930)

担当：渋川中学校 (電話0279-22-2548)

校長 高橋 充

教頭 飯塚 孝康

資料2

渋川のまちなかをイルミネーションで彩ります

11月30日(土)～1月31日(金)の期間中、午後5時～10時の間、渋川駅前広場及び渋川駅前通りをイルミネーションで彩る「渋川まちなかイルミネーション」が実施されます。

点灯初日の11月30日(土)は、午後5時から駅前広場で点灯式が行われます。

1 概要

「渋川まちなかイルミネーション」は、渋川駅前広場及び渋川駅前通り商店街の沿道にイルミネーションを設置し、渋川市中心市街地の賑わいを創出することを目的に、実施されるものです。視覚的にまちなかの賑わいを創出することに加え、点灯初日には点灯式イベントが開催されます。

2 イルミネーション点灯

- (1) 点灯期間 令和6年11月30日(土)～令和7年1月31日(金)
- (2) 点灯時間 午後5時～10時
- (3) 点灯場所 渋川駅前広場及び渋川駅前通り周辺

3 点灯式

- (1) 日 時 令和6年11月30日(土) 午後5時～6時30分
※雨天決行・荒天中止
- (2) 会 場 渋川駅前広場
- (3) 内 容
 - ①イルミネーション点灯カウントダウン
 - ②ミニコンサート
出演者：渋川高校吹奏楽部、Colly(バルーン&ハーモニカ)
 - ③お菓子・コーンスープ無料配付
- (4) 参加料 無料

- 4 主 催 渋川まちなかイルミネーション実行委員会

- 5 協 賛 医療法人森医院、群馬パース大学福祉専門学校、JR渋川駅、渋川伊香保温泉観光協会、渋川中央病院、医療法人関口病院、北毛保健生活協同組合、ラミーパスタ工業株式会社

6 記者会見出席者

渋川まちなかイルミネーション実行委員会
委員長 入沢 秀樹(いりさわ ひでき)さん

■問い合わせ先

産業観光部 部長 金井 裕昭(内線4899)
担当：産業政策課(電話0279-22-2596)
課長 山田 量俊(内線4890)
商工・産業振興係長 堀田 章恵(内線4895)

渋川まちなか

イルミネーション

2024 11.30 (土) ▶ 2025 1.31 (金)

色鮮やかな街路樹、光と噴水のモニュメントなど、
極上のイルミネーションが冬の渋川のまちなかを彩ります。

点灯
場所

渋川駅前広場及び
渋川駅前通り沿道

点灯
時間

午後 5 時 ~ 10 時

点灯式

2024.11.30 (土) (雨天決行)
午後 5 時 ~ 6 時 30 分 (予定)
会場：渋川駅前広場

● 問い合わせ先 ●

渋川まちなかイルミネーション実行委員会事務局 TEL.0279-22-0464

● 主催 / 渋川まちなかイルミネーション実行委員会

● 協賛 / 医療法人森医院・群馬パース大学福祉専門学校・JR 渋川駅・渋川伊香保温泉観光協会・渋川中央病院
医療法人関口病院・北毛保健生活協同組合・ラミーバスタ工業株式会社

資料3

令和6年度渋川市「家族の日」大会作文の入賞者が決まりました

渋川市女性団体連絡協議会は、家族の絆の大切さに気づきを与えるとともに、家族や地域の大切さについて再認識をしてもらうことを目的に、市内小中学生を対象に家族をテーマにした作文を募集しています。

今年度は1,144点の応募があり、審査により入賞者を決定しました。

1 概要

渋川市女性団体連絡協議会は、家族の絆の大切さに気づきを与えるとともに、家族や地域の大切さについて再認識をしてもらうことを目的として、毎年、市内の小中学校に在学している児童・生徒を対象に、家族をテーマにした作文の募集を行っています。今年度は1,144点(小学生797点、中学生347点)の応募があり、審査の結果、最優秀賞9点、優秀賞83点の入賞者を決定しました。

令和6年11月23日(土・祝)に開催される渋川市「家族の日」大会において、入賞者表彰式と最優秀賞受賞者による作文の朗読を行います。

2 令和6年度渋川市「家族の日」大会

- (1) 日時 令和6年11月23日(土・祝) 午後1時30分から
- (2) 場所 渋川市北橋ふれあいセンター(渋川市北橋町真壁2354)
- (3) 内容 表彰式及び最優秀賞受賞作品朗読

3 入賞者

- (1) 最優秀賞 9点(小学生6点、中学生3点)

氏名(ふりがな)	学校・学年	題名
太刀川 博文(たちかわ ひろふみ)	渋川北小1年	かぞくのみんないつもありがとう
大谷 優結(おおたに ゆず)	長尾小2年	おかあさん、もうなかないよ
山田 観多郎(やまだ かんたろう)	古巻小3年	ぼくのふたりのおばあちゃん
井上 瑚乃(いのうえ この)	渋川南小4年	おじいちゃんとお父さん
田中 友彩(たなか とあ)	渋川西小5年	私の弟
千明 千恵美(ちぎら ちえみ)	中郷小6年	誇りに思うおじいちゃん
黒沢 桃太(くろさわ ももた)	渋川北中1年	父はヒーロー
井上 愛乃(いのうえ まな)	渋川中2年	母のうた
六川 美梨亜(ろくかわ みりあ)	渋川中3年	家族として

- (2) 優秀賞 83点(小学生67点、中学生16点)

4 主催 渋川市女性団体連絡協議会

5 共催 渋川市教育委員会

6 記者会見出席者

渋川市女性団体連絡協議会会長 茂木 道代 氏 ほか役員

7 その他

入賞作品を掲載した『渋川市「家族の日」大会入選作文集』を作成し、入賞者に配布します。

参考

1 渋川市「家族の日」大会作文応募状況

- ・令和5年度=1,143点
- ・令和4年度=1,098点
- ・令和3年度=1,150点
- ・令和2年度=890点
- ・令和元年度=1,146点

2 渋川市女性団体連絡協議会とは

女性の社会参画意識の向上と、地域の発展に寄与することを目的とした団体で、市内で活躍する9つの女性団体及び個人会員で組織されています。

渋川市「家族の日」大会作文の審査は、会員が行っています。

【構成団体】

- ・渋川連合女性会
- ・渋川市渋川赤十字奉仕団
- ・渋川市女性防火クラブ
- ・渋川市伊香保赤十字奉仕団
- ・更生保護女性会伊香保支部
- ・渋川市伊香保婦人会
- ・伊香保地区交通安全婦人部
- ・おのがみレディースクラブ
- ・更生保護女性会小野上支部

■問い合わせ先

教育部 部長 斉藤 章吉（内線4930）

担当：生涯学習課（電話0279-22-2500）

課長 照井 智子（内線4950）

生涯学習係長 村尾 洋明（内線4954）

資料4

インフルエンサーによる渋川市の魅力発信が始まりました

渋川市は、令和6年度の新規事業として、SNSで市の魅力を発信する「インフルエンサー」を募集しました。応募者の中から審査を経て、補助金交付決定を受けたインフルエンサーによる情報発信が始まりました。

1 概要

渋川市は、市の魅力をより多くの人に届け、交流人口の拡大を図るため、SNSで多くのフォロワー等を持つインフルエンサーが、自身のアカウントで渋川市の魅力を発信する取り組みを補助する事業を、令和6年度から実施しています。

現在までに4人に補助金の交付決定を行い、そのうち2人が情報発信を開始しています。

2 経過

- (1) 補助希望者募集（令和6年4月～5月）：9人応募
- (2) 補助対象者決定（令和6年6月）：応募者の中から、フォロワー等の数、過去の投稿の閲覧数や投稿内容、補助を受ける投稿の企画内容などを基準に審査を行い、5人の補助対象者を決定しました。今回は、多方面への情報発信を目的に、投稿内容のジャンルが重複しないインフルエンサーを選定しました。
- (3) 補助金交付申請（令和6年7月～）：5人の補助対象者から、事業着手前に補助金交付申請を提出してもらい、交付決定をします。現在までに、4人に補助金の交付決定を行いました。

3 補助金交付決定者

No.	アカウント名	利用するSNS	フォロワー	ジャンル等
1	さもあんすが い	Instagram 	17.5万人	女子の日常のあるあるネタの動画を配信
		TikTok 	9.23万人	
2	shino_gunmaki ds	Instagram ※投稿あり 	5.4万人	群馬県内で子どもが楽しめる公園・食事・旅行先を写真や動画を投稿
		TikTok ※投稿あり 	1.09万人	

3	Peaky Hikers	YouTube		2.31万人	Vtuberのメイローとアルピナのよる動画配信
4	@hari_chig	Instagram ※投稿あり		7.1万人	ハリネズミの写真と動画を投稿

4 その他

今後、補助金交付決定者の配信や投稿の状況を、「広報しぶかわ」や市ホームページ等で紹介し、さまざまな視点からとらえた渋川市の魅力を、より多くの人にみてもらえるようにしていきます。

参考

SNS情報発信事業の概要

(1) 対象者

SNSのフォロワーまたはチャンネル登録者が、1万人を超えるアカウントの管理者（または、管理者が所属する法人）

(2) 対象のSNS YouTube、Instagram、TikTok

(3) 補助内容

①補助対象経費

- ・ 渋川市までの往復及び市内を移動する経費（交通費、車の燃料費、車の賃借料）
- ・ 市内の宿泊施設に宿泊する経費
- ・ 市内で利用する施設やサービスの利用料
- ・ 市内の店舗等で食事をする経費
- ・ 市内の店舗等で特産品（農産物、菓子類、工芸品等）、食材及び消耗品を購入する経費

②補助金額 対象経費の10分の10の額（上限10万円）

※燃料費は1キロメートル当たり10円

※宿泊費は1人1泊当たり2万円を上限

(4) 予算額 50万円

■問い合わせ先

総合戦略部 部長 鴻田 吉史（内線2410）

担当：広報室（電話0279-22-2182）

室長 熊迫 徳三（内線2419）

シティブランド発信係長 小杉 早苗（内線2416）

ふるさと納税ポータルサイト「JRE MALLふるさと納税」での 渋川市への寄附申込の受け付けを開始します

渋川市へのふるさと納税申込窓口として、ふるさと納税ポータルサイト「JRE MALLふるさと納税」を新たに追加しました。11月22日(金)の午後2時から申込受付を開始します。

これに合わせて、「JRE MALLふるさと納税」限定で申し込みを受け付ける、新たな返礼品の提供を開始する予定です。

1 概要

現在、渋川市は、ふるさと納税の申込窓口として「ふるさとチョイス」、「楽天ふるさと納税」、「ふるなび」、「ふるさとタッチ」の4ポータルサイトを利用しています。この度、上記の4サイトに加えて、東日本旅客鉄道(株)が運営するふるさと納税ポータルサイト「JRE MALLふるさと納税」での寄附金の申込受付を開始します。

2 アクセス開始日時 令和6年11月22日(金) 午後2時

※JRE MALLふるさと納税ポータルサイトのアクセス先

<https://furusato.jreast.co.jp/furusato/municipality/detail/f666>



◀こちらの二次元コードからアクセスできます

3 JRE MALLふるさと納税について

JRE MALLふるさと納税は、東日本旅客鉄道(株)が運営するふるさと納税ポータルサイトです。

ふるさと納税寄附者の主要居住地域である東京圏に強い顧客基盤を有し、ポータルサイトの提供だけでなく、駅その他の施設における広告展開や各種イベントの開催などの強いプロモーション展開力を有することが特徴です。

長距離列車の運行や観光キャンペーンなど、鉄道会社としての強みを活用した独自のサービスをふるさと納税返礼品として提供することにより、新たな体験型返礼品の創出及び本市の関係人口並びに交流人口の増大が期待されています。

今後、渋川市は、JRE MALLふるさと納税が主催するプロモーションイベントへの参加や駅施設等において無償で掲出されるポスター、デジタルサイネージ広告等の活用により、JRE MALLふるさと納税を活用した積極的なシティプロモーション活動を実施する予定です。

4 「JR東日本びゅうダイナミックレールパック」で使えるクーポン返礼品の提供

渋川市における新たなふるさと納税返礼品として、「ダイナミックレールパッククーポン返礼品」の提供を開始する予定です。

「ダイナミックレールパッククーポン返礼品」は、「JRE MALLふるさと納税」でふるさと納税の寄附を申し込むと、返礼品として選択できる電子クーポンです。

(株)JR東日本びゅうツーリズム&セールスが運営する宿泊予約サイト「びゅうトラベル」において、ダイナミックレールパックを利用して渋川市内の宿泊施設を予約する場合に、「ダイナミックレールパッククーポン返礼品」が利用可能となります。

※当該返礼品については、現在、総務省に手続き中です

※ダイナミックレールパックについて

「ダイナミックレールパック」は、(株)JR東日本びゅうツーリズム&セールスがサービス展開する、往復の列車と宿泊施設を自由に選択し、まとめて申し込みを行うことのできるウェブ販売限定の旅行商品です。

参考

渋川市のふるさと納税寄附受入実績

年度	寄附件数	寄附金額	県内順位 (12市中順位)	ポータル サイト数
令和5年度	9,853件	4億876万6,000円	6位(2位)	4
令和4年度	7,034件	3億1,469万3,000円	9位(4位)	4
令和3年度	4,023件	2億3,302万6,000円	9位(4位)	1
令和2年度	3,449件	1億9,267万3,000円	9位(3位)	1

■問い合わせ先

総合戦略部 部長 鴻田 吉史 (内線2410)

担当：広報室 (電話0279-22-2396)

室長 熊迫 徳三 (内線2419)

シティブランド発信係長 小杉 早苗 (内線2416)

「渋川市こども計画」の策定に係る市民意見公募を実施します

「渋川市こども計画」の策定に当たり、市民の皆さんの意見を幅広く計画に反映させるため、12月10日(火)から1月8日(水)まで、計画案に対する市民意見公募を実施します。

1 概 要

こども基本法の規定により、市町村は、こども大綱を勘案してこども計画を策定するよう努力義務が課せられました。また、こども計画は、市町村子ども・子育て支援事業計画など、既存の各法令に基づく市町村計画と一体のものとして作成することができます。渋川市は、第2期渋川市子ども・子育て支援事業計画の計画期間が令和6年度をもって終了することから、子どもが幸せを感じながら成長し、地域全体で子育ての喜びを実感できるまちを目指すために、令和7年度を始期とする「渋川市こども計画」を策定します。

この計画に、市民の皆さんの意見を幅広く計画に反映させるため、計画案に対する市民意見公募を実施します。

2 計画案の公表・意見募集期間 令和6年12月10日(火)～令和7年1月8日(水)

3 計画案の閲覧場所と閲覧時間

(1) 渋川市公式ホームページ=24時間

(2) 市役所本庁舎(1階市民ホール前、こども政策課)、第二庁舎(2階入口)及び各行政センター=閉庁日を除く午前8時30分～午後5時15分

4 意見の提出方法

市ホームページまたは閲覧場所に設置している所定の様式に意見と必要事項を記入し、次のいずれかの方法で提出してください。

(1) 持 参：こども政策課または各行政センター

(2) 郵 送：〒377-8501 渋川市石原80番地 渋川市こども政策課 宛

(3) F A X：0279-24-6541

(4) Eメール：syoushikataisaku@city.shibukawa.gunma.jp

※所定の様式は、計画案の閲覧場所と市ホームページにあります

5 結果の公表

提出された意見に対する市の考え方をホームページなどに掲載します。

なお、意見以外の個人情報などは公表しません。

また、意見に対する個別の回答は行いません。

参考

渋川市こども計画の策定に当たり実施した会議等の状況

1 渋川市子ども・子育て会議

子ども・子育て支援法第72条に基づく機関で、学識経験者や子ども・子育て支援事業者、保護者等によって構成される「渋川市子ども・子育て会議」を開催し、計画内容等の審議を行いました。

- ・第1回：6月3日
- ・第2回：8月29日
- ・第3回：10月28日

2 渋川市こども計画庁内検討委員会

渋川市の子ども・若者、子育て当事者に対する施策の充実、子育て支援事業の体制の確保、全庁的な施策の推進を図ることを目的に、「渋川市こども計画庁内検討委員会」を開催し、計画内容等の審議を行いました。

- ・第1回：5月1日～5月17日
- ・第2回：8月2日～8月8日
- ・第3回：10月3日～10月10日
- ・第4回：11月1日～11月8日

3 子ども・若者の意見聴取（しぶかわキッズオピニオン）

子ども・若者の意見表明や社会参加の機会を確保し、子ども・若者の意見を聴き、こども施策に反映させるため、小中学生及び高校生が参加する意見交換会を実施しました。

(1) テーマ

- ・いま気になっていること、もっとうなったらいいのと思うことは？
- ・みんなのために寄付をもらったら、どんなことに使ってほしい？

(2) 開催状況

- ・7月27日・渋川市中央公民館／11人参加（公募市民）

4 計画の基礎資料とするためのアンケート調査を実施しました

- (1) 子ども・子育て支援事業等に関するニーズ調査
- (2) 子どもの生活に関するアンケート調査
- (3) 子ども・若者の意識と生活に関するアンケート調査

■問い合わせ先

育都推進部 部長 角田 義孝（内線1150）

担当：こども政策課（電話0279-22-1880）

課長 松下 恵子（内線1219）

政策推進係長 柴崎 智広（内線1243）